

現代経済

現代経済部門は、市場経済や現代社会における複数のカレントなトピックスを研究・教育の対象とし、主として以下の3分野にわたり研究教育活動を展開している。

第1の分野は、本部門の名称に示されるとおり、現代経済の最新のトピックスを扱う分野である。この方面では、国内外の学界・経済界で活躍する講師を招いて、現代社会の生きた情報を学ぶ講義を提供している。

第2の分野は、医療経済を扱う分野である。ここでの特徴は、本研究科教員と当分野の専門家である講師によるオムニバス形式の講義が編成され、医療経済の幅広い知識を提供していることである。なお、これらの講義は、四大学連合複合領域コース「医療・介護・経済コース」の基幹講義としての役割も担い、その一部は東京医科歯科大学キャンパスで開講されるなど、大学間交流の活性化に貢献している。平成28年度には、この実績を踏まえた大学戦略の一環として「医療政策・経済研究センター」が社会科学高等研究院に開設された。平成29年度からは、そこでの研究成果をも踏まえ、本部門での教育に活かされることとなる。

第3の分野である金融・ファイナンスでは、300番台講義「金融ファイナンス」を提供している。「金融ファイナンス A」では、主に国内の金融市場を対象として、資産価格決定理論、リスク評価や管理、マーケットマイクロストラクチャー、企業金融、金融政策などを講じている。また、「金融ファイナンス B」では、国際金融上のトピックスである為替レート決定、資本移動メカニズム、国際間のリスク分担、国際的な金融システムなどを論じている。

また本部門では、英語論文の書き方や英語によるプレゼンテーションに関する授業科目を設け、大学院生への実践的な英語教育を提供している。学部および大学院教育のコア科目（「基礎マクロ経済学」、「基礎計量経済学」、「上級マクロ経済学」）を担当する本研究科教員も所属し、基礎教育の分野に力を注いでいる。